

## 第73回広島大学経営協議会議事要録

日 時 令和元年11月28日(木) 13時15分～13時55分

場 所 広島大学病院3F大会議室

出席者 学外委員：岡島，菊地，國井，郷，白石，佃，山西，結城の各委員  
学内委員：越智，宮谷，相田，佐藤，楯，河原，木内，山田の各委員

欠席者 学外委員：苅田，ギナンジャーの各委員

列席者 渡邊上席副学長，吉村副学長，西村副学長，大段副学長，津賀副学長，神谷副学長，古澤副学長，相原副学長，野上監事，栗栖監事，竹内学長補佐，迫田副理事，長谷川部長，堀田副理事，野田部長，栗栖副理事，難波副理事，榎原副理事，佐々本部長，原部長，山内副理事，岩瀬部長，眞田部長，畑尾部長，郷原部長，吉岡部長，下田部長，山本総合戦略グループリーダー，吉盛総合戦略室高度専門職，太呉学長秘書室長，江頭法学部長，千田経済学部長，秀医学部長，岩永総合科学研究科長，久保田文学研究科長，加藤先端物質科学研究科長，秋野法務研究科長，藤原人事委員会委員長，山崎評価委員会委員長

※ 以下，発言内容は，○：学外委員，◇：学内委員を示す。

### (第72回広島大学経営協議会議事要録について)

令和元年9月5日開催の経営協議会議事要録について，原案のとおり承認された。

### (議事1)

#### ● 令和元年12月期役員の期末手当に係る業績勘案率及び支給額について

(越智学長提案，説明，別紙1)

- ◇ 役員に支給する期末手当の支給額については，役員報酬規則第7条第5項の規定において，当該役員の在職期間における業績を勘案し，経営協議会の議を経て，増額し，又は減額した額とすることができることとなっており，学長及び理事については，役員の期末手当に係る取扱要項第3第1項の規定により学長が作成した役員評価表を基に，また，常勤監事については，監事が作成する業務執行状況書等を基に，経営協議会の議を経て決定する各役員の業績勘案率により支給することとなっている。
- 本議案については，議案の性格にかんがみ，令和元年6月25日開催の第71回経営協議会から，学長と経営協議会学外委員で審議し，決定することが承認されており，今回も同様に決定する。

以上の説明があり，審議の結果，業績勘案率及び支給額について，原案のとおり承認した。

(特に質疑応答なし)

### (議事2)

#### ● 令和元年度補正予算について

(越智学長提案，山田理事(財務・総務担当)説明，別紙2)

- ◇ 令和元年度当初予算(平成31年3月27日経営協議会及び役員会承認)及び令和元年度補正予算(令和元年6月25日経営協議会及び役員会承認)の編成後，状況の変化により収入及び支出の増減が見込まれることから補正予算(13.17億円)を編成することとする。
- また，令和元年10月1日付けでオープンイノベーション事業本部を設置したことに伴い，オープンイノベーション事業本部が自立した運営を行っていくための予算を確保するため，令和元年度予算編成方針を改正することとする。

以上の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

次の質疑応答が行われた。

- ・ 目的積立金について

### (議事3)

#### ● 就業規則の改正等について

(越智学長提案，山田理事(財務・総務担当)説明，別紙3)

◇ 人事制度の改正に伴い、次に関する規則等を改正することとする。

- 1) 人事院勧告への対応
- 2) 広島県の最低賃金の改定への対応
- 3) 解雇要件の見直し
- 4) 死因究明のための死後CT撮影に対する手当の措置
- 5) 放射性同位元素防護管理者に対する手当の措置
- 6) 技能・労務職における職階の整備
- 7) 大学教員の新たな給与制度の構築

以上の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、各事業場の過半数代表からの意見書を付して、役員会へ付議することとした。

次の質疑応答が行われた。

- ・ 大学教員の新たな評価制度について

### (報告1)

#### ● 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について

(山田理事(財務・総務担当)報告，資料1)

◇ 平成30年度の実績報告書を令和元年6月に国立大学法人評価委員会に提出し、11月25日付けで評価結果の通知があり、全体評価としては、学長のリーダーシップの下、海外大学と連携した教育プログラムを展開するとともに、若手研究者を積極的に評価する制度を大学独自に開発するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいると評価された。「戦略性が高く、意欲的な目標・計画」の取組状況については、「意欲的で創造性のある研究者に対し積極的に評価する制度」の構築、「広島大学森戸国際高等教育学院3+1プログラム」の受入数を飛躍的に増やしていると評価された。また、項目別評価で、「財務内容の改善に関する目標について」の中で、「創立75周年に向けた基金の充実」，「第三者への貸付対象の拡大を受けた土地の貸付」の事項が注目事項として評価された旨、報告があった。

(特に質疑応答なし)

以 上